

令和6年8月7日（令和6年(2024年)度第18号）

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
http://www.z-hoikushikai.com

<ニュースの内容>

■ 食育推進研修会を開催しました

■ 食育推進研修会を開催しました

7月25日（木）～26日（金）の2日間、ホテルグリーンタワー幕張（千葉県千葉市）において、令和6年度食育推進研修会を開催しました。昨年度に引き続き、参集形式で研修会を行い、後日アーカイブ配信（8月19日～9月2日）を行うかたちで実施しました。

保育所・認定こども園等における食育の取り組みは、保育の重要な役割であり、子どもたちが生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送るための基礎となる「食を営む力」を育むことにつながります。このことから本会では、保育所・認定こども園等における食育の意義を考え、子どもの豊かな育ちと保育の質の向上をめざして、「食育推進研修会」を開催しています。

今年度の研修会では、子どもの状態にそった食育のあり方や、食育計画をもとにした食育実践について理解を深めるとともに、各職種の専門性を活かした連携の重要性を学びました。

【第1日】7月25日（木）

■ 情勢報告『食を取り巻く国の動向～保育所等における食育を含む栄養・食生活に関する施策の動向～』

講師：久保 陽子 氏（こども家庭庁成育局
成育基盤企画課 栄養専門官）

今年度から情勢報告を行いました。当日は、「食を取ります国の動向」と題してこども家庭庁成育局成育基盤企画課の久保栄養専門官にご報告いただきました。健やか親子21の普及啓発を通じた食育の推進等、保育所等に



1日目の様子

おける食育を含む栄養・食生活に関する施策の動向について学ぶことができました。

■講義Ⅰ『子どもの発達に応じた食へのアプローチ』

講師：権 暁成 氏（K DENTAL CLINIC 院長）

口腔の基本的知識や口腔内の状況が及ぼす影響、保育所・認定こども園等で行える子どもの食への関わりについて講義が行われました。口腔機能の発達、機能と歯および歯列等の形態等の基本知識や、口腔機能に問題がある際の対処法、普段の園での生活で気を付けてほしいポイントについて、動画や写真等を交えて学ぶことができました。



■講義Ⅱ『配慮が必要な子どもに寄り添う食育』

講師：水野 智美 氏（筑波大学医学医療系 准教授）

障がい特性の基本的知識を学び、「偏食」「過食」「あそび食べ」等が見られる子どもへのアプローチの方法や多職種の職員との連携、保護者のサポートについて講義が行われました。配慮が必要な子どもへの理解を深め、保育所・認定こども園等で食育を支援していくための具体的手法を学ぶことができました。



【第2日】7月26日（金）

■講義Ⅲ『子どもの育ちを支える食育～保護者支援・

家庭との連携～』

講師：野口 孝則 氏（上越教育大学大学院
学校教育研究科 教授）

全国保育士会が発行した、「毎日の食事を中心とした食育の推進」パンフレット（3種）をもちいて、保育者が食育に取り組む意義や家庭との連携・協働、地域との連携、関係者への情報発信の方法等について講義が行われました。



また、「自園で行っている食育について」等のグループワークをとおして、食育計画の具

体的な組み立て方や PDCA サイクルの活用方法について学び、子どもを中心にした食育のさらなる向上につながりました。

参加者からは、

- ✚ 難しい内容であったが、業務の参考にすべきものが明確になり参考になった。
- ✚ 口腔内の未発達による影響を多方面から知ることができてよかった。もっと話を聞きたかった。
- ✚ 配慮が必要な子どもへの対応について悩んでいたの
で、とても参考になった。ただ書くだけの計画ではなく、目の前の子どもたちを置き去りにしない食育計画の作成が大事だということを学んだ。
- ✚ グループワークの時間があつたことで、いろいろな園の事を聞くことができ、有意義な時間を過ごせた。
- ✚ 子ども一人ひとりがちがって、それにあつた給食提供や支援の大切さを知ることができた。

などの声が寄せられました。

本研修会は、来年度も開催予定です。みなさまのご参加をお待ちしております。



グループワークの様子